

森と湖に親しむ旬間

高瀬渓谷フェスティバル 2022

お待ちしております！

大町ダム
せせらぎの谷

さびしうとにころろ

日時: 令和4年7月30日(土) 9:00~15:00
場所: 大町ダム管理所(小雨決行)

◆自然豊かな高瀬渓谷で体験学習

大町ダムでは昭和63年から高瀬渓谷フェスティバルを開催し、今年で33回目を迎えます。今年もダムや森林の魅力をより身近に感じていただけるよう、ダム内部見学をはじめ親子で体験学習できる様々なコーナーを用意しています。



森と湖に親しむ旬間

【7月21日~7月31日は
森と湖に親しむ旬間です】

◆森と湖に親しむ旬間

国土交通省及び林野庁では森林や湖に親しむことにより心身をリフレッシュしながら、森林やダム等のもっている自然豊かな空間や社会生活にはたしている役割について理解を深めていただくことを目的として、毎年7月21日から7月31日までを「森と湖に親しむ旬間」として定めています。



●主催 / 森と湖に親しむ旬間実行委員会

国土交通省大町ダム管理所、国土交通省長野国道事務所公園課、林野庁中部森林管理局 中信森林管理署、長野県 大町建設事務所、大町市役所、大町市観光協会、東京電力リニューアブルパワー(株)高瀬川事業所、昭和電工(株) 大町事業所、北安中部漁業協同組合、(一社)北陸地域づくり協会、(株)建設マネジメント北陸

●共催 / 国土交通省松本砂防事務所、すいりゅういきいきネットワーク

●協力 / (公財)大町エネルギー博物館、大町市コミュニティセンター「上原の湯」、NPO法人ぐるったネットワーク大町、北の安曇野漂流会

交通のご案内



♪ 高瀬溪谷フェスティバル2022 ♪

～自然豊かな高瀬溪谷で様々なイベントを体験してみよう～

いつ: 令和4年7月30日(土) 9:00～15:00(小雨決行) ところ: 大町ダム



大町市キャラクター
おおまびょん

～中止について～

天候状況によっては、ダム管理所職員が洪水警戒体制等にあたるため、イベント実施体制がとれないと判断された場合は、フェスティバルを中止させていただきます。また、各種コーナーにつきましても、イベント開催中の天候、コロナ禍の状況等によって中止又は内容を変更する場合がございます。予めご了承下さい。なお、中止の場合や実施内容の変更がある場合は当日大町ダム管理所ホームページで告知するとともに、大町市有線放送、大町市CATVにてお知らせいたします。

・ダム内部見学(無料)

9:30～15:00

(1回あたり1グループで5名まで)

- ・先着順、30分おきにスタート!
- ・総合受付で整理券を発行します。普段なかなか見る事の出来ないダムの内部へスタッフがご案内します!



1回あたり約30分かかります

【大町ダム管理所】

・大町発電所見学(無料)

9:20～15:00

(1回あたり1グループで5名まで)

- ・先着順、20分おきにスタート!
- ・総合受付で整理券を発行します。普段なかなか見る事の出来ない発電所の内部へスタッフがご案内します!



1回あたり約30分かかります

【東京電力リニューアブルパワー(株)】

・放流疑似体験(無料)

9:00～15:00 いってもOK!

- ・ペットボトル模型を使って、ダムに水が流れる様子を観察します!

【大町ダム管理所】

・ダムの高さを歩いてみよう(無料)

10:00～14:00

1回あたり約30分かかります

(1回あたり1グループで5名まで)

- ・先着順、20分おきにスタート!
- ・総合受付で整理券を発行します。総合受付から大町発電所の見学場所まで、ガイドと一緒に動物の気配を感じながら歩いてみよう!



【(特非)ぐるったネットワーク大町
北安中部漁業協同組合】

・クラフト体験(無料)

9:00～15:00 いってもOK!

- ・くるみのストラップを作ります!

【国営アルプスあづみの公園】



・木工品作り ・とじこめーる

(押葉を使ったハガキ作り)
(いずれも無料)

9:00～15:00 いってもOK!

【中信森林管理署】

山にある木の葉などを使って木工品を作ろう



木工品作り

・スタンプラリー(無料)

9:00～15:00 いってもOK!

- ・ダムの周りにチェックポイントを用意! ダムに関するクイズに答えながら、スタンプを集めよう! スタンプを集めたら、記念品がもらえるよ!



※コロナ禍対策のためマスクをご持参ください。

【お問い合わせ先】

森と湖に親しむ旬間実行委員会 事務局

国土交通省北陸地方整備局 大町ダム管理所

〒398-0001 長野県大町市平字ナロウ大クホ2112-71

TEL:0261-22-4511 FAX:0261-22-4512

【担当】加藤、池田

イベント内容は大町ダム管理所ホームページでもご覧いただけます。

大町ダム管理所

検索

クリック

<http://www.hrr.mlit.go.jp/omachi/>

☆高瀬渓谷フェスティバル2022☆ スタンプラリーの景品についてのお知らせ

高瀬渓谷フェスティバルスタンプラリーでスタンプを4箇所集めると、特製
おおまぴょんカレンダーがもらえるよ！さらに、スタンプラリー参加で「大町
エネルギー博物館」、「上原の湯」をお得に利用できます♪
スタンプラリーに挑戦して、高瀬渓谷フェスティバルを楽しみつくそう！！☀



感染症対策及び熱中症対策に関するお願い

・感染症対策について

入場時及び、各イベントブース参加時の手指消毒のご協力をお願いします。
また、入場時の検温にて、体温が37.5度以上の方は入場をご遠慮願います。

イベント会場では、マスクの着用及び手指の消毒、人との距離の確保にご協力くださいますようお願いいたします。

・熱中症対策について

飲料水の提供等はありませんので、各自水分をご準備の上、お越しいただくようお願いいたします。

また、体調が優れなくなった場合には、お近くのスタッフにお声がけくださいますようお願いいたします。

イベント開催時のチェックリスト

【令和4年5月版】

イベントに関する情報		
イベント名	高瀬渓谷フェスティバル2022	
出演者・チーム等	森と湖に親しむ旬間実行委員会	
開催日時	日付	令和4年7月30日(土)
	時間	9:00~15:00
開催会場	大町ダム管理所、大町発電所	
会場所在地	長野県大町市平ナロヲ大クボ2112-71他	
主催者	森と湖に親しむ旬間実行委員会 (事務局 国土交通省北陸地方整備局 大町ダム管理所)	
主催者所在地	長野県大町市平ナロヲ大クボ2112-71他	
主催者連絡先	(電話番号)	(メールアドレス)
	0261-22-4511	oomachi@hrr.mlit.go.jp
収容率(上限)	✓ 100% (大声なし) (※)	人と人が触れ合わない程度の間隔
	50% (大声あり) (※)	十分な人と人との間隔 (できるだけ2m、最低1m)
収容人数	300人	
参加人数	600人程度を想定	
その他特記事項	各イベントブースでは大声を出さない、参加者同士が十分な距離を確保するといった呼びかけを行う。会場内の誘導等で大声を出す可能性はあるが、屋外において2m以上間隔をあけて発声することとしており、大声を伴わないこととした。 (大声なしの場合は、大声なしと判断した理由や、大声を伴わないことを担保する具体的な対策を記載してください。)	

(※) 大声の定義を「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当することと整理する。

感染防止策に係るチェック項目

(注) イベント開催時には、下記の項目(イベント開催時の必要な感染防止策)を満たすことが必要です。

※5,000人超かつ収容率50%超のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。

①飛沫の抑制(マスク着用や大声を出さないこと)の徹底	✓	<p>【大声なしの場合】 飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク(品質の確かな、できれば不織布)の正しい着用(※1)や大声(※2)を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる</p> <p>(※1)マスクの着用については、厚生労働省HP「国民の皆さまへ(新型コロナウイルス感染症)」及び「第27回基本的対処方針分科会参考資料1」参照。 なお、屋外において、他者と距離がとれない場合であっても会話をほとんど行わない場合は、マスクの着用は必要ないことに留意すること。 (※2)大声の定義は「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とする。</p> <p>【大声ありの場合】 「大声なしの場合」の「大声」を「常時大声を出す行為」と読み替える。</p>
②手洗、手指・施設消毒の徹底	✓	こまめな手洗や手指消毒の徹底を促す。(会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施。)
	✓	主催者側による施設内(出入口、トイレ、共用部等)の定期的かつこまめな消毒を実施する。
③換気の徹底	✓	法令を遵守した空調設備の設置による常時換気又はこまめな換気(1時間に2回以上・1回に5分間以上等)を徹底する。
④来場者間の密集回避	✓	入退場時の密集を回避するための措置(入退場ゲートの増設や時間差入退場等)を実施する。
	✓	休憩時間や待合場所での密集を回避するための人員配置や動線確保等の体制を構築する。
	✓	大声を伴わない場合には、人と人が触れ合わない間隔を、大声を伴う可能性がある場合は、十分な人と人との間隔(できるだけ2m、最低1m)を確保する。

⑤ 飲食の制限	✓	飲食時の感染防止策(飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策)を徹底する。
	✓	飲食中以外のマスク着用を推奨する。
	✓	長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外(観客席等)での飲食自粛を奨励する。
	✓	自治体等の要請に従った飲食・酒類提供の可否判断(提供する場合には飲酒に伴う大声等を防ぐ対策を検討。)を行う。
⑥ 出演者等の感染対策	✓	有症状者(発熱又は風邪等の症状を呈する者)は出演・練習を控える等、日常から出演者やスタッフ等の健康管理を徹底する。
	✓	練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する。
	✓	出演者やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる。(誘導スタッフ等必要な場合を除く。)
⑦ 参加者の把握・管理等	✓	チケット購入時又は入場時の連絡先確認やアプリ等を活用した参加者の把握を行う。
	✓	入場時の検温、有症状(発熱又は風邪等の症状)を理由に入場できなかった際の払戻措置等の有無を周知し、有症状者の入場を確実に防止する。
	✓	時差入退場の実施や直行・直帰の呼びかけ等、イベント前後の感染防止について注意喚起を行う。

上記のチェック項目に加え、各業界が定める業種別ガイドライン(該当する業種において策定されている場合)を遵守します。